

授業科目 児童家庭福祉論Ⅰ

【担当教員名】 宮崎 純子	対象学年	2	対象学科	社会	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○		
【概要・一般目標：G10】 地域社会の変貌は著しく、そこに暮らす子ども達の生活ストレスを背景とした様々な問題行動が浮き彫りになっている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家族形態の中で抱える児童家庭問題の本質を考えてみたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について論じ少子高齢化が一段と進む中、子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考える。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 児童福祉の歴史と基礎概念について学習する。 2. 現代社会と児童福祉について学ぶ。 3. 子どもを健やかに生み育てる環境について考える。 4. 児童福祉の法と児童福祉施策、実施体制について学ぶ。 5. 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	児童家庭福祉の理念と概念		1, 2	講義	
2	児童家庭福祉制度の発展過程		1, 2	講義	
3	要保護児童のための福祉サービス		2, 3, 4	講義	
4	被虐待児のための福祉サービス		2, 3, 4	講義	
5	非行児童等のための福祉サービス		2, 3, 4	講義	
6	障害児のための福祉サービス		2, 3, 4	講義	
7	ひとり親家庭のための福祉サービス		2, 3, 4	講義	
8	母子保健サービス		2, 3, 4	講義	
9	児童の健全育成サービス		2, 3, 4	講義	
10	保育サービス		2, 3, 4	講義	
11	子育て支援サービス		2, 3, 4	講義	
12	国際条約		2, 3	講義	
13	児童家庭福祉の基本的法律（1）		2, 4	講義	
14	児童家庭福祉の基本的法律（2）		2, 4	講義	
15	まとめ		1-5	講義	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		第5巻「児童家庭福祉論」 社会福祉小六法 2013	社会福祉学習双書 ミネルヴァ書房編集部	全社協 ミネルヴァ書房	2014・最新版 2013
参考書		必要に応じて紹介する			
その他の資料		必要の都度配布する			
【評価方法】 1. 出席 2. レポート又は小テスト 3. 定期試験を総合して評価する		【履修上の留意点】 社会福祉士国会試験指定科目（専門科目）であるので、目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。			